ライン川のほとりで Vol.2

IPPNW.ORG

2010.8.27

1985 NOBEL PEACE PRIZE

編集：西田、西村、領家、吉見、橋本

本日のドイツ語

⊙さようなら
Auf Wiedersehen.
アウフ ヴィダーゼーエン

⊙私の名前は～です。
Ich heiße
イッヒ ハイセ ～

ブースにて

ブースでは皆さん頑張って下さってました。自分は少ししか顔を出せませんでしたが、つるの折り方を外国の方に教える事ができました。その方は息子にも教えると言って帰られました。今日はできるだけ顔を出すつもりです。

学生さんの感想です!!

山本良太（琉球大）

今回、私は初めてIPPNWに参加いたしました。初めての国際会議で、特にStudent congressは通訳がなかったため全てを吸収することがかなわず残念だったのですが、同じNuclear Abolitionを目標とする世界の人々と交流できたことは、とてもいい経験となりました。2年後の広島大会では、より多くの学生が参加してほしいと思います。

IPPNWに実際に来て、いかに自分が井の中の蛙だったか、と思っています。日本で今まで自分ひとりが~~日本では~~考えていることかもしれない、と~~自分~~思っていたことを、同じように考える人が世界にこれほど大勢いることに勇気づけられるとともに、知らないことの多さに圧倒されてしまいそうです。ICANの"Million Please"のように、行動することは難しいと感じる多くの日本の学生でも小さな一歩で踏み出したいと思いました。

秋田5年 中村 まなび

分科会：Nuclear Bomb Victims of the World

岩永洋
田川市立病院 初期内科

- 世界の被曝者についてのまとめ、核拡散の危険性について才話させていただきました。今日の機会を下さりありがとうございました。
- 核を持ちたがる人々が何を考えているかを読んで活動するのも手かと存じます。
- 先に帰国しますので御協力出来ずにすみません。

反核医師の会が、初めて出したワークショップでした。住民に知らされないまま核実験が行われている実態を知り、人権が守られていないと感じました。また、原爆証認定について、より多くの人に知ってもらえるよい機会だったと思いました。武田先生、岩永先生、眞鍋先生、お疲れ様でした。

第3セッションの3.のWSのスピーカーは松井先生です!!
（でも、ご自由にWSを選んで下さい☺）

本日のめだま

- 通訳の舒崎さんと鈴木さんは、分科会の第3セッションは、
3. Umbrella or Bullseye? Dismantling Extended Nuclear Deterrance
第4セッションは、
8. Learn about Nuclear Weapons
に決定しました!

編集後記

- おなか、こわしました。西田
- たくさんの情報が入ってきて頭の中が飽和してます。領家
- スイスのdinnerは、あれが普通なのでしょうか…。体力つけます！ 西村
- やっぱり一日が長かったですね。吉見
- 眠いです。常にお腹いっぱいです 橋本